

令和7年12月12日

報道解禁（文化審議会文化財分科会終了後）
テレビ・ラジオ・インターネット
令和7年12月19日（金） 18時以降
新聞
令和7年12月20日（土） 朝刊

担当課：教育庁教育総務部文化財保護課
直 通：092-643-3876
内 線：5385
担 当：大庭^{おおば}・岡田^{おかだ}

史跡の指定について

- 国の文化審議会（会長 島谷^{しまたに} 弘幸^{ひろゆき}）は、令和7年12月19日（金）に開催される同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、特別史跡の新指定1件、史跡名勝天然記念物の新指定8件・追加指定等27件、登録記念物の新登録6件及び重要文化的景観の新選定1件・追加選定1件について、文部科学大臣に答申する予定です。
- このうち、福岡県関連は、特別史跡の追加指定2件、史跡の追加指定3件です。
- 官報告示後、福岡県内の国指定史跡の件数は変更ありません（特別史跡を含めて99件）。

【特別史跡の追加指定】

- ・大宰府跡^{だざいふあと}（太宰府市）、水城跡^{みずきあと}（太宰府市）

【史跡の追加指定】

- ・須玖岡本遺跡^{すくおかもといせき}（春日市）、筑後国府跡^{ちくごこくふあと}（久留米市）、御所山古墳^{ごしょやまこふん}（苅田町）

※関連する写真や画像は提供しますので、担当まで連絡願います。

[特別史跡の追加指定]

名 称 ^{だざいふあと} 大宰府跡

所 在 地 福岡県太宰府市観世音寺三丁目431番1外

今回の指定面積 4,375.90㎡

指 定 総 面 積 339,884.21㎡

指 定 経 過

大正10年	3月 3日	史跡指定	内務省告示第38号
昭和28年	3月31日	特別史跡指定	文化財保護委員会告示第17号
昭和45年	9月21日	追加指定	文部省告示第274号
昭和49年	6月25日	追加指定	文部省告示第120号
平成21年	2月12日	追加指定	文部科学省告示第8号
平成26年	3月18日	追加指定	文部科学省告示第33号
平成26年10月	6日	追加指定	文部科学省告示第139号
平成27年	3月10日	追加指定	文部科学省告示第41号
平成30年	2月13日	追加指定	文部科学省告示第20号
令和 3年	3月26日	追加指定	文部科学省告示第47号
令和 5年	3月20日	追加指定	文部科学省告示第15号
令和 7年	3月10日	追加指定	文部科学省告示第24号

指定地の概要

特別史跡「大宰府跡」は、筑後平野と福岡平野を分かち脊振山系と四王寺山系にはさまれた狭小な平野の北側に立地し、「日本書紀」等諸史料が伝える古代律令制下にあつて外交を^{つかさど}掌り、西海道（九州）諸国を統轄した地方最大の官衙「大宰府」の中心をなす遺跡である。

昭和43年から継続的に発掘調査が行われており、政庁跡（都府楼跡）は第Ⅰ期（7世紀後半頃造営）、第Ⅱ期（8世紀前半頃造営）、第Ⅲ期（10世紀中葉以降造営）の3時期に遺構が変遷することが分かっている。また、政庁周辺域には関連する諸遺構が広がっており、一体的な保存が図られている。

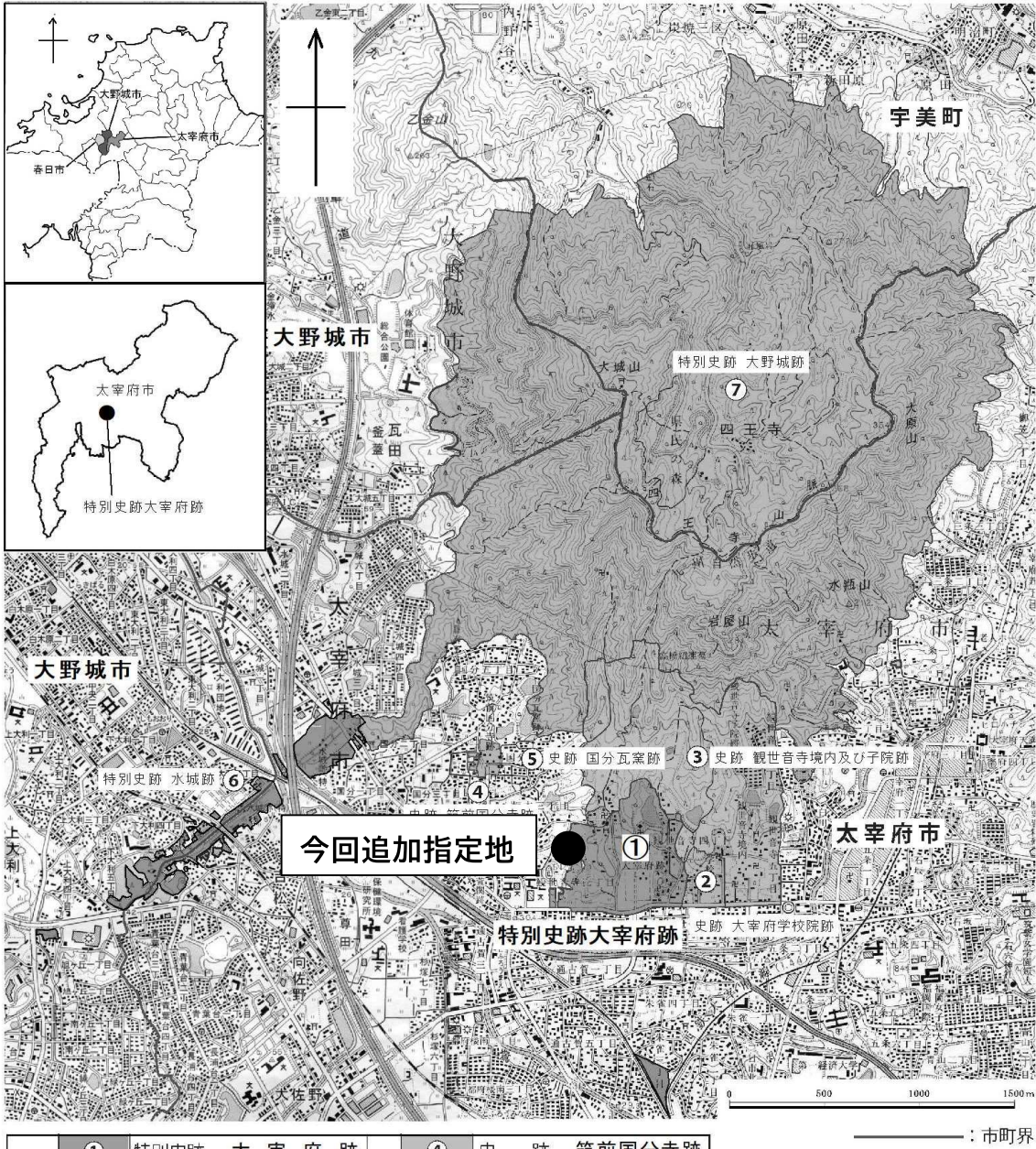
今回は政庁地区の西側にある^{らいき}来木地区に位置し、過去の調査で掘立柱建物跡や礎石建物跡、鑄造関連遺物が確認された場所を追加指定する。

連絡先 太宰府市教育委員会 文化財課（担当：沖田、坂口）

TEL：092-921-2121（代表）

FAX：092-921-3667

大宰府史跡指定地域図



凡例	①	特別史跡	大宰府跡	④	史跡	筑前国分寺跡
	②	史跡	大宰府学校院跡	⑤	史跡	国分瓦窯跡
	③	史跡	観世音寺境内及び子院跡	⑥	特別史跡	水城跡
				⑦	特別史跡	大野城跡

大宰府跡追加指定地位置図



大宰府跡（南から）（提供：太宰府市教育委員会）

[特別史跡の追加指定]

名 称 ^{みず き あと} 水城跡

所 在 地 福岡県太宰府市吉松二丁目 1 8 3 番 5 外

今回の指定面積 4 8 1 . 3 5 m²

指 定 総 面 積 2 7 4 , 9 7 9 . 4 0 m²

指 定 経 過

大正 1 0 年	3 月 3 日	史跡指定	内務省告示第 3 8 号
昭和 1 3 年	1 2 月 2 8 日	追加指定	文部省告示第 3 7 6 号
昭和 2 8 年	3 月 3 1 日	特別史跡指定	昭和 3 0 年文化財保護委員会告示第 1 7 号
昭和 4 9 年	8 月 1 0 日	追加指定	文部省告示第 1 3 6 号
昭和 5 2 年	2 月 2 日	追加指定	文部省告示第 8 号
昭和 5 3 年	3 月 7 日	追加指定	文部省告示第 3 1 号
昭和 5 6 年	5 月 1 6 日	追加指定	文部省告示第 9 0 号
平成 2 年	6 月 2 8 日	追加指定	文部省告示第 8 4 号
平成 5 年	9 月 2 2 日	追加指定	文部省告示第 1 1 6 号
平成 6 年	8 月 8 日	追加指定	文部省告示第 1 2 1 号
平成 9 年	3 月 1 2 日	追加指定	文部省告示第 4 1 号
平成 9 年	9 月 2 日	追加指定	文部省告示第 1 5 8 号
平成 1 0 年	1 2 月 8 日	追加指定	文部省告示第 1 6 8 号
平成 1 2 年	9 月 6 日	追加指定	文部省告示第 1 4 5 号
平成 1 4 年	1 2 月 1 9 日	追加指定	文部科学省告示第 2 0 6 号
平成 1 6 年	9 月 3 0 日	追加指定	文部科学省告示第 1 4 5 号
平成 1 8 年	7 月 2 8 日	追加指定	文部科学省告示第 1 1 5 号
平成 1 9 年	2 月 6 日	追加指定	文部科学省告示第 8 号
平成 2 0 年	7 月 2 8 日	追加指定	文部科学省告示第 1 2 3 号
平成 2 1 年	2 月 1 2 日	追加指定	文部科学省告示第 8 号
平成 2 2 年	2 月 2 2 日	追加指定	文部科学省告示第 1 5 号
平成 2 3 年	2 月 7 日	追加指定	文部科学省告示第 1 4 号
平成 2 5 年	3 月 2 7 日	追加指定	文部科学省告示第 4 3 号
平成 2 6 年	3 月 1 8 日	追加指定	文部科学省告示第 3 3 号
平成 2 7 年	3 月 1 0 日	追加指定	文部科学省告示第 4 1 号
平成 2 8 年	3 月 1 日	追加指定	文部科学省告示第 3 0 号
平成 3 0 年	2 月 1 3 日	追加指定	文部科学省告示第 2 0 号
平成 3 1 年	2 月 2 6 日	追加指定	文部科学省告示第 2 3 号
令和 2 年	3 月 1 0 日	追加指定	文部科学省告示第 1 9 号
令和 3 年	3 月 2 6 日	追加指定	文部科学省告示第 4 7 号
令和 4 年	3 月 1 5 日	追加指定	文部科学省告示第 2 7 号

令和 5 年 3 月 2 0 日 追加指定 文部科学省告示第 1 5 号

令和 6 年 1 0 月 1 1 日 追加指定 文部科学省告示第 1 4 3 号

指定地の概要

水城跡は、筑紫平野と福岡平野を結ぶ地峡部に位置し、牛頸丘陵^{うしくび}と大城山^{おおぎやま}を南西－北東方向につなぐように全長約 1. 2 k m、標高約 2 0 ～ 3 0 m の範囲にわたって築造された本堤^{ほんてい}のほか、西方の谷間に断続的に築かれた小水城^{しょうみづき}から構成される土木構造物である。天智天皇 3 年（6 6 4）に築造されたことが「日本書紀^{にほんしよき}」に記述されており、唐・新羅^{とう しらぎ}の侵攻に備えたものとされている。

水城跡は、大きく土塁と濠によって形成される。本堤の土塁は、基底部幅 8 0 m、高さは最大で 1 0 m を測る。土塁の博多側には幅 6 0 m、深さ 4 m 前後の濠が確認されており、土塁の下には導水用の木樋^{もくひ}が、現在までに 4 か所で確認されている。太宰府側にも約 5 0 m 幅の中に内濠を含む関連施設が存在したとされる。また、東西の丘陵接続部にはそれぞれ門が設置されていたことも判明している。

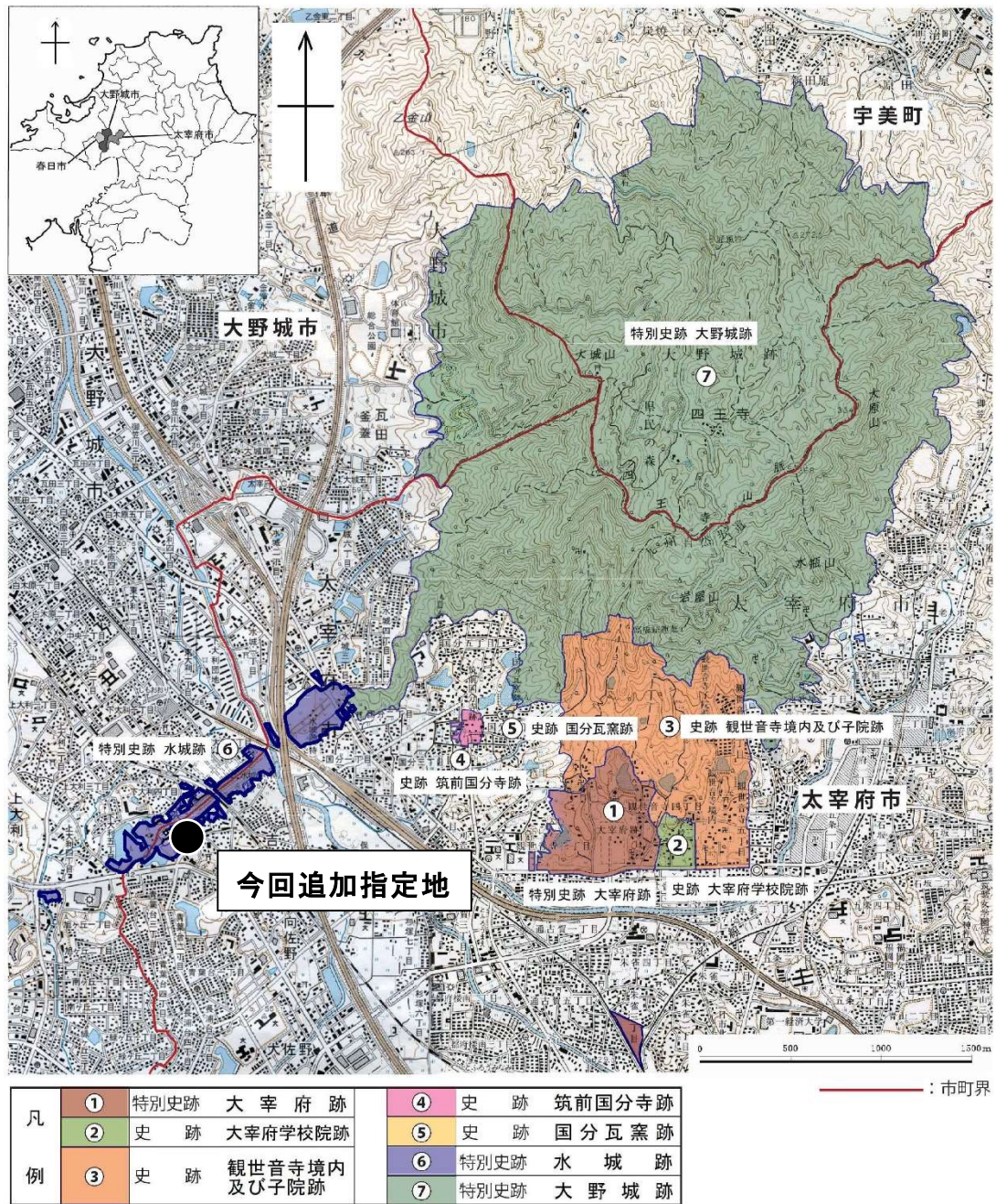
これまで、水城跡は保存する必要がある範囲に対して、土地所有者の同意が得られたところから順次追加指定を行ってきた。今回は西門跡から南東約 1 0 0 m に位置し、内濠に当たる場所の内、条件の整った地点を追加指定する。

連絡先 太宰府市教育委員会 文化財課（担当：沖田、坂口）

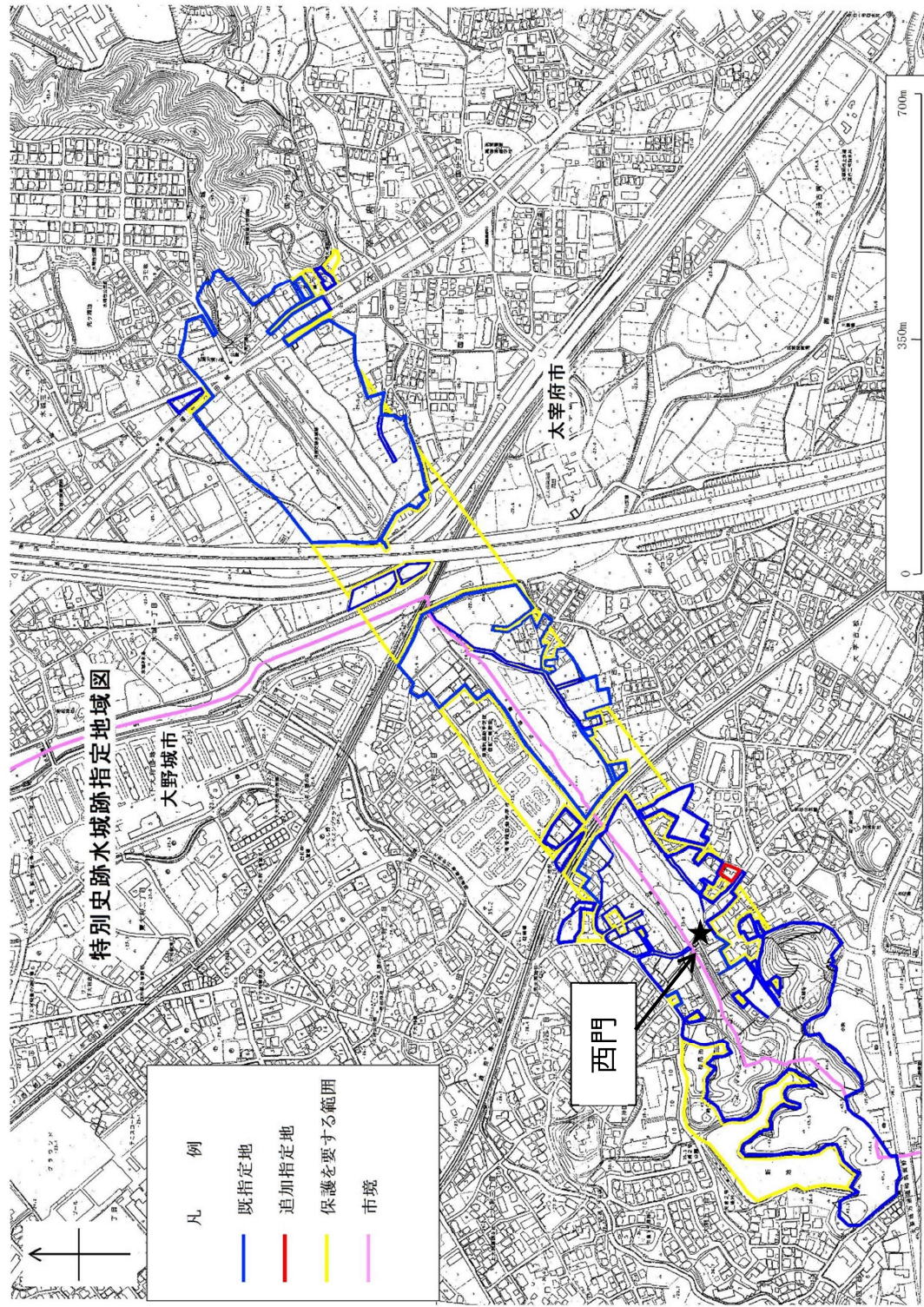
TEL：0 9 2－9 2 1－2 1 2 1（代表）

FAX：0 9 2－9 2 1－3 6 6 7

大宰府史跡指定地域図



水城跡追加指定地位置図



B. 指定等の対象地域の範囲を示す地形図



水城跡（東から）（提供：太宰府市教育委員会）

[史跡の追加指定]

名 称 ^{す ぐ おかもといせき}
須玖岡本遺跡

所 在 地 福岡県春日市岡本1丁目74番外

今回の指定面積 1,685.43㎡

指 定 総 面 積 25,206.86㎡

指 定 経 過

昭和61年	6月24日	史跡指定	文部省告示第98号
平成12年	9月6日	追加指定・名称変更	文部省告示第147号
平成14年	12月19日	追加指定	文部科学省告示第209号
平成16年	9月30日	追加指定	文部科学省告示第147号
平成22年	8月5日	追加指定	文部科学省告示第128号
平成25年	10月17日	追加指定	文部科学省告示第147号
令和2年	3月10日	追加指定	文部科学省告示第23号
令和4年	3月15日	追加指定	文部科学省告示第29号
令和7年	3月10日	追加指定	文部科学省告示第26号

平成15年 7月22日 管理団体指定 文化庁告示第8号

指定地の概要

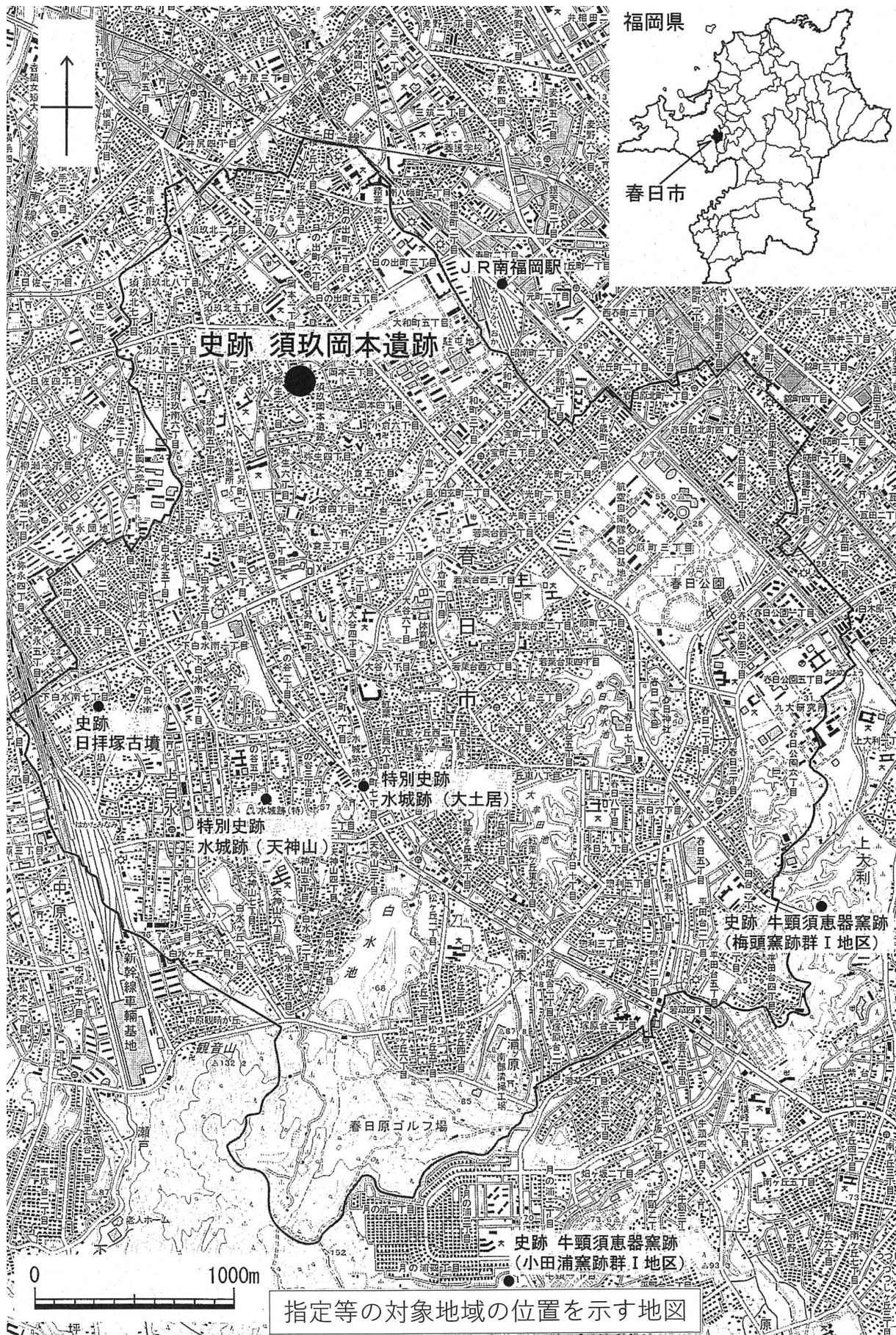
須玖岡本遺跡は、福岡平野の南部に位置する弥生時代中期から後期にかけての遺跡である。明治32年に発見された多数の副葬品を持つ弥生時代の甕棺墓^{かめかんぼ}は、「奴国」^{なこく}の王墓に比定され、全国的に注目されてきた。その後も周辺を含めた発掘調査で、多数の甕棺墓や青銅器工房跡等が確認されており、一帯が「奴国」の中心地であったことが分かってきている。

今回は、有力者集団の墓域や青銅器工房跡と推定される範囲の内、条件の整った場所を追加指定する。

連絡先 春日市 文化財課（奴国の丘歴史資料館）（担当：吉田）

TEL：092-501-1144

FAX：092-573-1077



須玖岡本遺跡追加指定地位置図



既指定地現況（西から）（提供：春日市）

〔史跡の追加指定〕

名 称 ちくごこくふあと 筑後国府跡

所 在 地 あいかわまちあざふるごう 福岡県久留米市合川町字古宮 1 3 6 0 番 1 外

今回の指定面積 1, 7 7 4. 3 1 m²

指 定 総 面 積 4 3, 9 8 0. 4 3 m²

指 定 経 過

平成 8 年	3 月 2 6 日	史跡指定	文部省告示第 3 5 号
平成 1 5 年	8 月 2 7 日	追加指定	文部科学省告示第 1 4 1 号
平成 1 9 年	2 月 6 日	追加指定	文部科学省告示第 1 2 号
平成 2 4 年	9 月 1 9 日	追加指定	文部科学省告示第 1 5 1 号

指 定 地 の 概 要

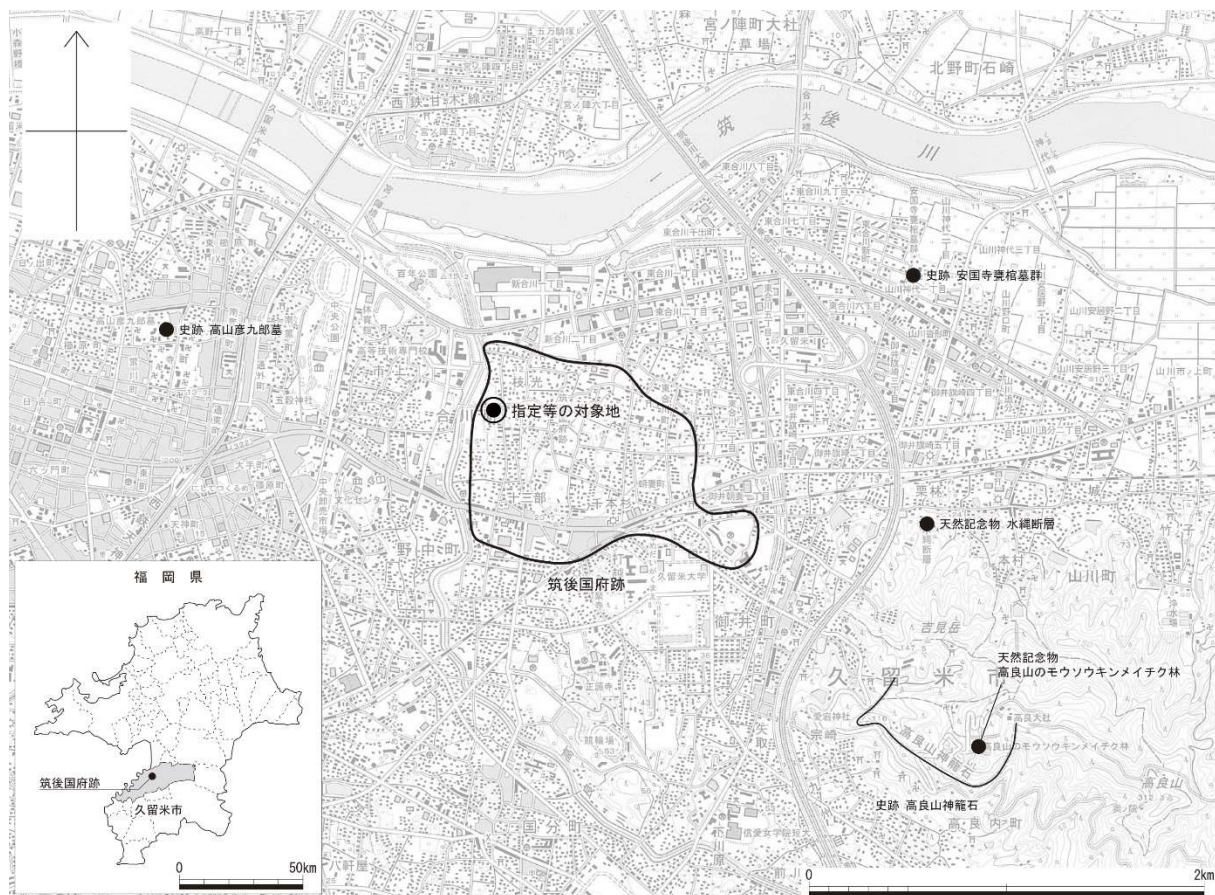
筑後国府跡は、古代筑後国の国府跡とその関連施設跡が確認された官衙遺跡である。これまでの発掘調査によって、国府の中核施設である政庁が 7 世紀後半から 1 2 世紀後半までの約 5 0 0 年の間に 3 回移転し、Ⅰ期からⅣ期の変遷をたどることがわかっている。また、Ⅰ期からⅣ期の政庁のほか、7 世紀中頃から末頃の前身官衙やⅡ期政庁に伴う国司館、中世の記録である『高良記』にみえる在国司居屋敷、曹司群そうじ、推定官道も確認された。これらのことから、筑後国府跡は政庁成立から廃絶までの変遷と国府の構造が明らかになった貴重な遺跡であるとして、前身官衙跡・Ⅰ期政庁跡・Ⅱ期政庁跡・国司館の一部が史跡に指定されている。

今回の対象地は、Ⅰ期政庁の北東部に位置し、発掘調査の結果、政庁北辺築地の基底部や築地側溝、大型掘立柱建物跡が確認され、8 世紀前半の須恵器や転用てんよう硯けんが出土した。筑後国府跡を構成する重要な場所であるため追加指定するものである。

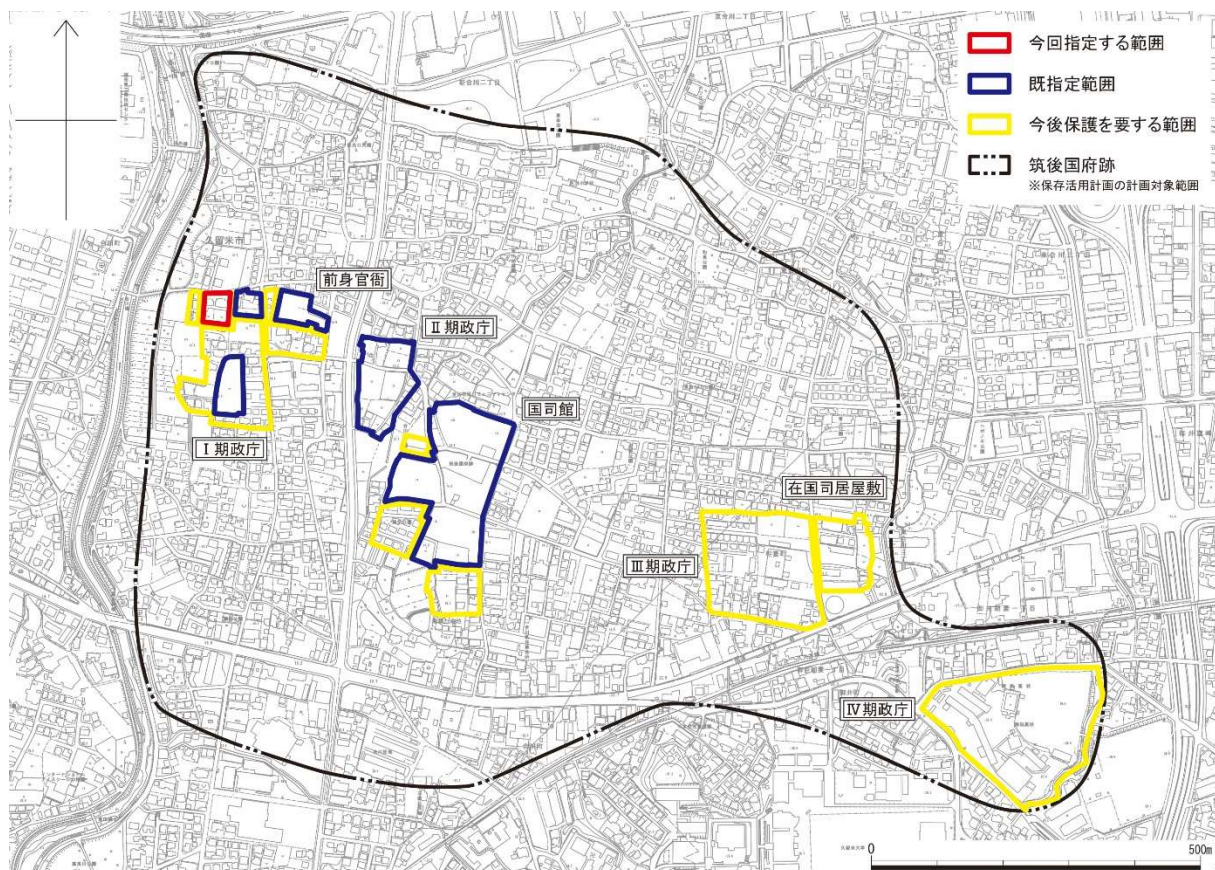
連絡先 久留米市市民文化部文化財保護課 (担当：白木・廣木)

TEL：0 9 4 2－3 0－9 2 2 5

FAX：0 9 4 2－3 0－9 7 1 4



史跡筑後国府跡位置図



追加指定対象地位置図



筑後国府跡第 318 次調査全景（南上空から）（写真提供：久留米市市民文化部文化財保護課）

〔史跡の追加指定〕

名 称 ^{ごしよやまこふん} 御所山古墳

所 在 地 福岡県京都郡苅田町大字^{おおあざよばる}与原字瀬戸 7 5 3 番 2 外

今回の指定面積 8 3 8 . 6 9 m²

指 定 総 面 積 1 5 , 9 8 0 . 7 9 m²

指 定 経 過

昭和 1 1 年 9 月 3 日 史跡指定 文部省告示第 3 1 4 号

平成 2 4 年 9 月 1 9 日 追加指定 文部科学省告示第 1 5 1 号

令和 2 年 3 月 1 0 日 追加指定 文部科学省告示第 2 3 号

令和 4 年 3 月 1 5 日 追加指定 文部科学省告示第 2 9 号

令和 6 年 1 0 月 1 1 日 追加指定 文部科学省告示第 1 4 6 号

指定地の概要

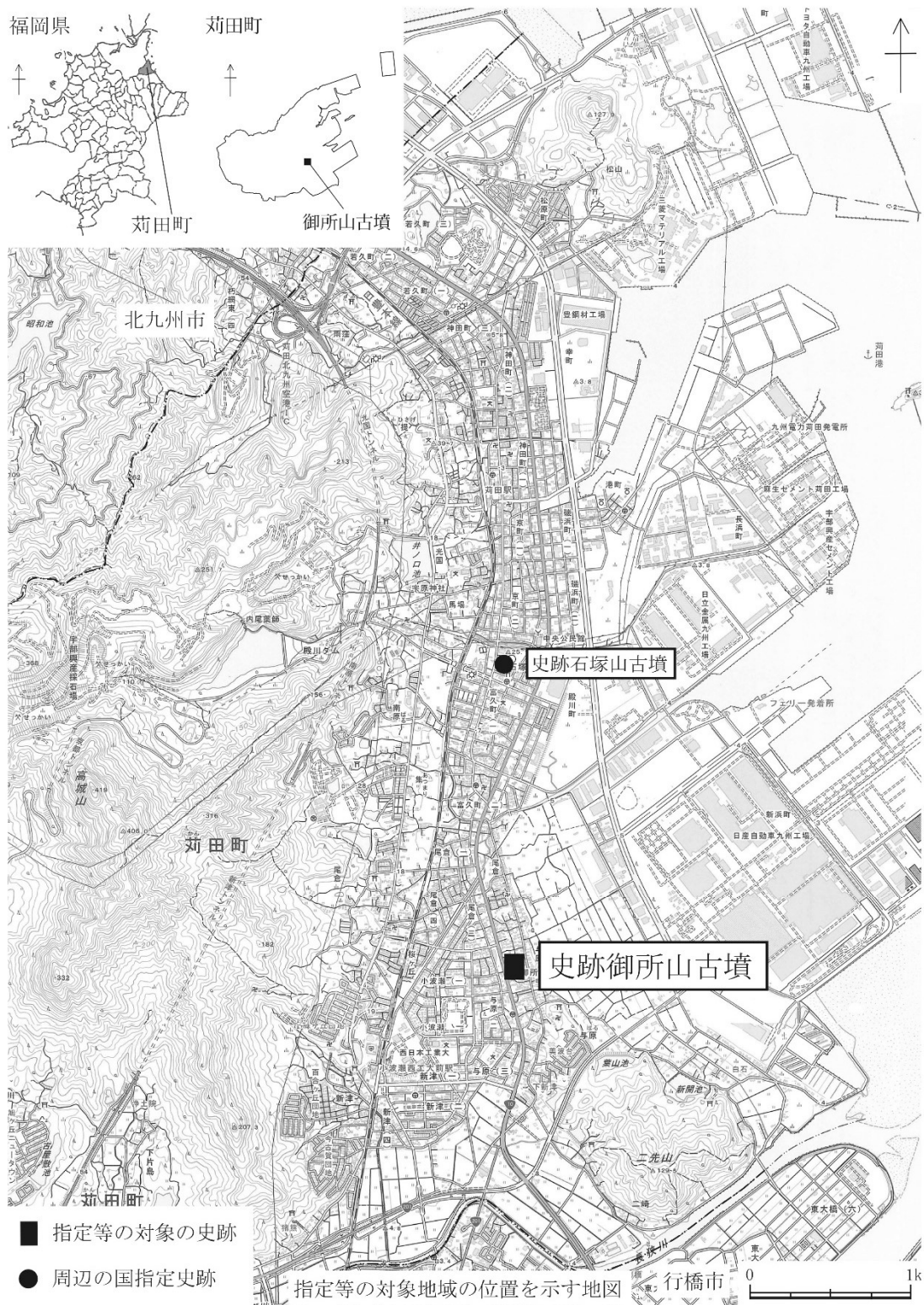
御所山古墳は京都平野の北側、周防灘に面して立地する古墳時代中期（5 世紀）の前方後円墳である。全長は 1 1 9 m と豊前地域で最大級の規模を誇り、古くから周防灘沿岸部の^{めいしゅふん}盟主墳と考えられ、注目されてきた。

今回は、後円部周濠の南西側に位置する箇所などで、条件の整った場所を追加指定する。

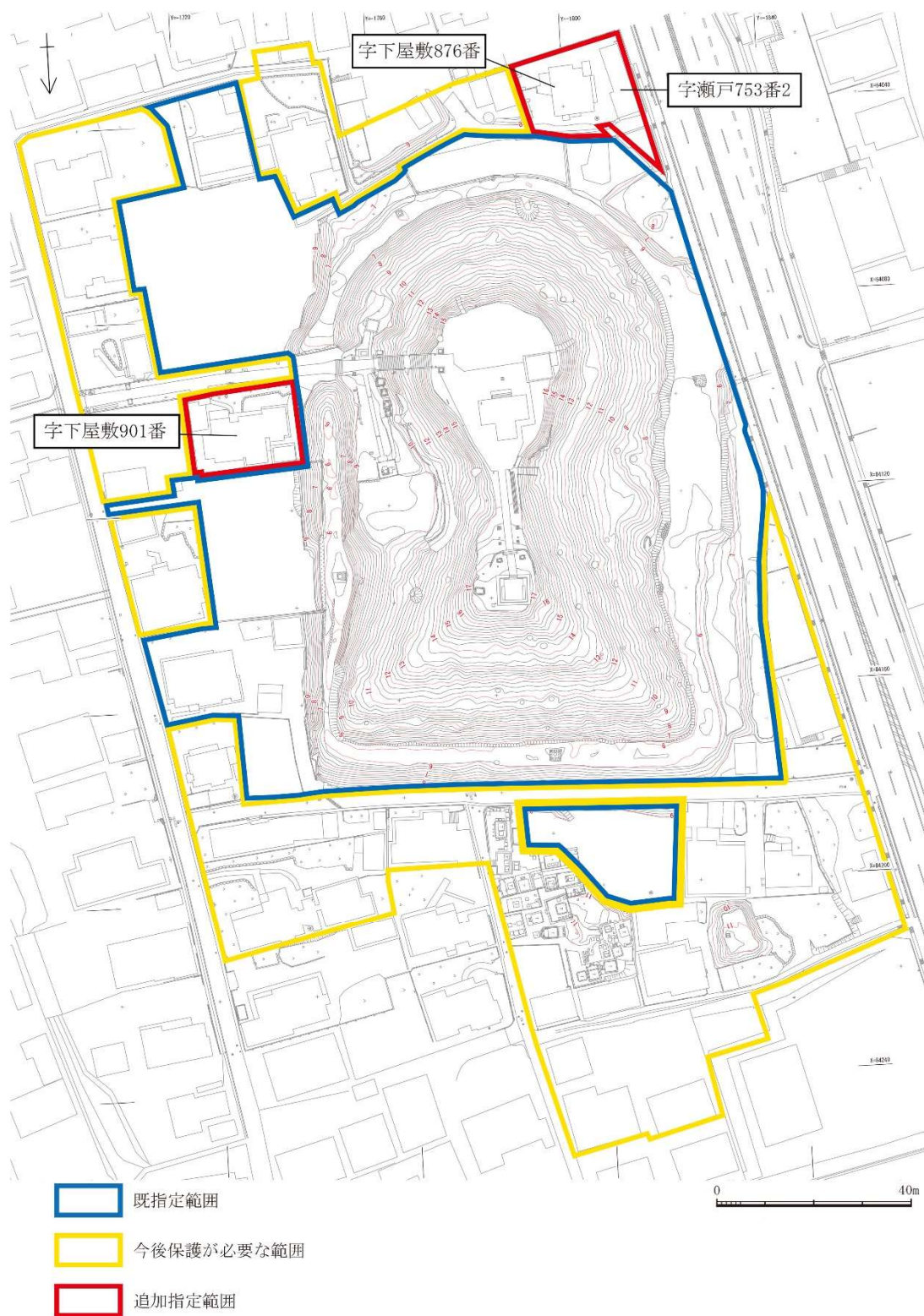
連絡先 苅田町教育委員会 生涯学習課（担当：^{わかすぎ}若杣・藤野）

TEL：0 9 3－4 3 4－2 2 1 2

FAX：0 9 3－4 3 4－5 5 4 3



御所山古墳位置図



指定等の対象地域の範囲を示す地形図

御所山古墳追加指定範囲図



御所山古墳全景（北上空から）（提供：荻田町教育委員会）